



2 回戦 鹿島台中央公園野球場 2 時間 3 分

仙台工業	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	【仙】	29	2	0	0	0	3	8	5	2	0
東北学院	0 0 0	0 0 0	0 1 x	1	【東】	23	1	1	2	2	9	6	9	1	0

(球) 沼辺 (一) 佐藤学 (二) 熊谷勇 (三) 山田  
 【仙】 古山 千葉  
 【東】 高橋 早坂  
 ▽暴投 なし ▽ホーク なし ▽捕逸 なし  
 ▽本塁打 なし  
 ▽三塁打 なし  
 ▽二塁打 永澤 (仙) なし (東)

□大会第3日目 10 月 10 日 (月)

準決勝 松島運動公園野球場 1 時間 35 分

石巻商業	1 0 0	0 0 0	0 0 0	1	【石】	18	2	1	1	0	1	7	3	3	2
仙台育英	1 3 13	0 x 0	0 0 0	17	【仙】	18	7	10	7	0	18	3	7	1	0

(球) 野田 (一) 佐藤拓 (二) 雁部 (三) 5回コールド 佐藤亮  
 【石】 勝又・生出・佐藤翔 佐藤翔・勝又  
 【仙】 勝田 加藤  
 ▽暴投 勝又3, 生出1(石) ▽ホーク なし ▽捕逸 なし  
 ▽本塁打 なし  
 ▽三塁打 なし  
 ▽二塁打 なし (石) 大島, 吉田 (仙)

【石巻商業】 打 安 点

(中) 生	出	1	0	0
打 吉田 龍	平	1	0	0
(三) 土	井	2	0	0
(捕) 佐藤	翔	2	1	1
(二) 菅	原	2	1	0
(投) 勝	又	2	0	0
(一) 丹	野	2	0	0
(遊) 熊	谷	2	0	0
(左) 太	田	1	0	0
打 遠	空	1	0	0
(右) 桜	井	2	0	0

計 18 2 1

【仙台育英】 打 安 点

(中) 右 鈴	木	2	0	2
右 野	馬	0	0	0
(二) 菅	野	2	1	2
(遊) 佐	藤	1	1	2
(捕) 加	藤	3	0	0
(右) 佐	々	1	0	0
(中) 伊	藤	1	0	0
(一) 山	与	1	0	0
(左) 吉	田	1	1	0
(左) 大	田	1	1	2
(投) 官	憲	0	0	0
(三) 勝	澤	2	1	1
児	田	3	2	1

計 18 7 10

【評】  
 準決勝第1試合は石巻商業と仙台育英の顔合わせとなった。1回表、石巻商業は四球で出塁したランナーを3番佐藤翔がレフト前へのタイムリーを打ち先制した。対する仙台育英は1回の裏に1点、2回裏に3点と着実に点数を重ねていく。そして3回裏、相手投手の制球難に漬け込み、効果的な安打を絡めて一挙13点の猛攻。仙台育英の先発勝田は初回の1失点のみに抑え、5イニングを1四球7奪三振の好投で勝利を決定付けた。投打のかみ合った仙台育英が、5回コールドで石巻商業を下し決勝進出を決めた。

準決勝 松島運動公園野球場 2 時間 2 分

仙台青陵	0 0 0	0 0 1	0 0	1	【仙】	26	3	1	1	2	1	13	4	2	0
東北学院	1 0 0	4 0 0	0 3x	8	【東】	30	9	7	4	2	7	2	8	1	0

(球) 佐藤圭 (一) 嶋田 (二) 菅原幸 (三) 8回コールド 佐藤亮  
 【仙】 青木 千葉誠  
 【東】 高橋悠 早坂  
 ▽暴投 青木3(仙), 高橋悠2(東) ▽ホーク なし ▽捕逸 なし  
 ▽本塁打 なし  
 ▽三塁打 小野1(東)  
 ▽二塁打 なし (仙) 小野, 武田 (東)

【仙台青陵】 打 安 点

(遊) 平	澤	4	1	0
(投) 青	木	3	0	0
(右) 渡	邊	1	0	1
(一) 渡	邊	3	1	0
(三) 丹	野	3	0	0
(二) 高	橋	3	0	0
(中) 千	葉	3	0	0
(左) 佐	藤	2	0	0
打 左	々	1	0	0
(捕) 千	葉	3	1	0

計 26 3 1

【東北学院】 打 安 点

(三) 阿	部	3	2	2
(遊) 山	下	4	2	0
(中) 小	野	3	2	2
(左) 後	藤	4	0	0
(左) 加	谷	0	0	0
(投) 高	悠	3	0	1
(右) 高	郡	3	0	0
打 高	橋	1	0	0
(一) 武	舜	3	2	0
(捕) 早	田	2	0	0
(二) 岡	崎	4	1	2

計 30 9 7

【評】  
 準決勝第2試合は仙台青陵と東北学院の対戦となった。青陵青木と学院高橋悠の両エースの投げ合いとなったこの試合は初回東北学院が2番山下のレフト前安打と相手のミスで1点を先制した。続く4回にも7番武田のセンター前をスタートに4安打の集中安打で4点を追加した。対する仙台青陵も6回先頭の9番千葉誠のレフト前ヒット、1番平澤のライト前ヒットでチャンスを作ると送りバントで1アウト2、3塁から3番渡邊のライトへの犠牲フライで1点を返すも8回に東北学院が3安打と2四死球で3点を加え、8対1の8回コールドで決勝進出を決めた。

□大会第4日目 10月12日(水)

決勝戦		松島運動公園野球場		2	時間	41	分				打安点盗犠四三残失併									
【仙】	仙台育英	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【東】	東北学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	1	0	0	0	0	0	0	0

(球)	三浦	(一)	鎌田卓	(二)	武田	(三)	藤村	延長14回	▽本塁打	なし
【仙】	伊藤	—	加藤	—	—	—	—	—	▽三塁打	なし
【東】	高橋悠	—	早坂	—	—	—	—	—	▽二塁打	なし
▽暴投	なし	▽ボーク	なし	▽捕逸	加藤2(仙)	なし	なし	なし	なし	(仙) (東)

【仙台育英】				打	安	点	【東北学院】				打	安	点
(中)	菅	野	6	0	0	(三)	阿	部	6	1	0		
(二)	児	玉	6	0	0	(遊)	山	下	5	0	0		
(遊)	佐	藤	6	1	0	(中)	小	野	6	1	0		
(投)	伊	藤	4	0	0	(一)	武	田	6	0	0		
(一)	山	中	5	0	0	(投)	高	悠	4	0	0		
(三)	勝	田	4	1	0	(右)	橋	郡	3	0	0		
(捕)	加	藤	4	1	0	(左)	賀	谷	3	1	0		
(左)	大	島	5	0	0	(捕)	早	坂	4	0	0		
(右)	鈴	木	4	0	0	(二)	岡	崎	5	1	1		
計				44	3	0	計				42	4	1

**【評】**  
 今大会の決勝戦は、仙台育英高校と東北学院高校の対戦となった。先発投手はともにエースの仙台育英・伊藤、東北学院・高橋悠であった。両投手ともにこれまでの試合で完封をするなど、試合前から両投手による投げ合いが予想された。その予想通り、試合は両チームともにヒットをなかなか出せない状況となり、淡々と展開していった。四死球によるランナーが得点圏に進んでも、両エースとも後続打者を確実に抑える好投を見せ、試合は延長戦へともつれ込んだ。延長に入り、東北学院・高橋悠は四死球が1つと、全試合先発でありながら踏ん張りを見せた。一方、仙台育英・伊藤は徐々に制球が乱れ、延長だけでも5個の四死球を与えた。そのうち3四死球は失点につながった14回裏に出てしまった。最後はこの3四死球による満塁から9番岡崎の1塁への内野安打で東北学院が得点。延長14回、試合時間2時間41分の試合に決着がついた。東北学院高校は5大会ぶり8回目の優勝を飾り、10月22日から地元石巻市で行われる秋季東北大会に出場する。宮城県代表として、更なる活躍を期待したい。

優勝校

 東北学院高等学校（5大会ぶり8回目）